

研究テーマ	大学名	研究者名	研究概要	市担当部署
放課後児童クラブにおける児童の発達支援に関する研究	中村学園大学 教育学部 教授	吉川 昌子	放課後児童クラブにおける発達支援が必要な児童の観察・実態調査、支援員へのアンケート、意識調査・分析を行い、その有効な支援方法を研究する。特に専門的な対応が必要と判断した児童クラブでは、対象児童に対する介入支援、支援員への相談支援を行い、加えて、支援員向けの研修会の実施する。研究成果として、児童・支援員への有効かつ具体的な支援方法について明らかにし、支援員用の「発達障がいのある児童の支援ガイド」を作成する。	子ども課
メタン発酵消化液を液肥利用した場合のジャンボタニシへの影響	九州大学大学院 農学研究院 助教	長澤 貴宏	農業者を悩ませているジャンボタニシは、アルカリ性の水を苦手とすることが報告されている。そこで、畜産糞尿を原料としたメタン発酵消化液（アルカリ性）を用いた際のジャンボタニシの活動抑制効果（生存率や摂餌量等）と、稲の育成に与える影響を評価し、メタン発酵消化液の液肥としての有効性を検証する。	農業振興課
糸島市における災害史について	九州大学大学院 工学研究院 助教	西山 浩司	糸島市の災害に関する文献調査や、災害の証言を持つ住民への聞き取り調査を行い、歴史的事実を復活させる。そして、その成果を反映させた災害史ホームページを作成する。さらに、そのホームページとハザードマップを融合し、災害リスクを認識しやすいコンテンツを提供する。研究期間終了後は、災害史のコンテンツを活用した災害学習会や防災街歩き、防災教育の実施等を検討する。	危機管理課
糸島市内重要遺跡の地中レーダ探査について	九州大学大学院 工学研究院 准教授	水永 秀樹	国内有数の重要遺跡が数多く点在する糸島市では、その調査や保存・整備を図る必要がある。発掘調査は多大な時間と費用を要する。そこで効率的な遺跡の調査研究・保存・整備・活用のため、遺跡を壊すことなく広範囲を素早く調査できる地中レーダ探査を用いて事前に遺構の状況を把握し、成果を報告する。	文化課
糸島市公共施設等総合管理計画及び第1期アクションプランの取組に対する理解促進と「志摩初地域施設再配置事業」を契機とした地域活性化策について	九州大学大学院 人間環境学研究院 准教授	黒瀬 武士	公共施設等総合管理計画及び第1期アクションプランを踏まえ、志摩初地域に設置している公共施設に焦点をあて、地域住民等との意見交換を通し、地域全体の将来像やまちづくりの方向性、及び公共施設を活用したさらなる地域活性化策について検討するための調査を行う。	公共施設マネジメント推進室
高精度数値計算に準拠したVR・ARによる津波・豪雨体感型避難訓練	九州大学大学院 工学研究院 准教授	浅井 光輝	豪雨・津波ハザードマップのAR・VRアプリケーションを作成。予想される災害ハザードの3次元可視化を行う。また、シミュレーターは、実写映像と重ねて見るなどの体験型コンテンツとし、防災計画の立案（公助）や幅広い年代の防災意識を高める（自助）ために役立てる。	危機管理課
福岡都市圏及び関東圏における海産物等のニーズ調査及び糸島産海産物の需給マッチング方策の研究	相模女子大学 人間社会学部 社会マネジメント学科 教授	湧口 清隆	糸島市が推進する「糸島ブランド」の販路拡大も視野に、関東圏及び福岡都市圏の小規模事業者についてアンケート調査を実施し、個々の漁家における漁獲変動に対応する出荷の組織化と、小規模業務用を中心とした継続的なニーズの把握、マッチングを図る方策を検討する。	農林水産課